

第48回 H.C.R 国際福祉機器展@NEDO ブースで新製品を発表します

(株)QDレーザは、2021年11月10日から12日まで東京ビッグサイトで開催される「第48回 H.C.R 国際福祉機器展@NEDO ブース」で、3つの製品 RETISSA Display IIとアクセサリカメラ(新製品)、RETISSA Super Capture(試作品)、RETISSA ルーペ(試作品)を参考出展します。また、プレゼンテーションスペースで「見えるをあきらめない! ~レーザ網膜投影による新しい3つのロービジョンエイド~」と題して、網膜投影技術を使った当社のロービジョンエイドの新たな取り組みをご紹介します。



H.C.R 国際福祉機器展は、アジア最大規模の福祉機器の展示会です。1974年(昭和49年)に高齢者と障害者の自立と社会参加を支えることを目的とした「社会福祉施設の近代化機器展」を、厚生省(現厚生労働省)と社会福祉法人全国社会福祉協議会が共催して行いました。それ以降毎年開催され、最新の保健福祉・介護・リハビリに関する情報を発信し続けています。

NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)は「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」に基づき、1993年より「課題解決型福祉用具実用化開発支援事業」を実施しています。この事業は高齢者や障害者の生活の質(QOL)向上と介護者の負担軽減に役立つ技術の確立を目指しており、福祉用具を開発する中小企業等への助成(累計230余件)と福祉用具に関する情報提供をおこなっています。

この度の H.C.R 国際福祉機器展内 NEDO ブースでは、NEDO の助成を受けた QDレーザを含む6社の展示スペースとプレゼンテーションスペースが設置されます。展示スペースでは製品の展示・体験・デモンストレーションが行われ、プレゼンテーションスペースでは、スタートアップ・中小企業向け支援事業、福祉事業の取り組み、開発助成事業者による福祉用具の成果が紹介されます。また、初の試みとして会期中のプレゼンテーションや会場の様子が、オンラインでライブ配信されます。(https://hcr2021.jp/)

NEDO ブースの当社の展示スペースでは、網膜投影技術を使った RETISSA シリーズをお試しいただきます。新製品としてアイウェア RETISSA Display IIに取り付け可能な小型カメラ「RD2CAM」をご紹介します。RETISSA Display IIのフレームへの着脱できるカメラで、目の前の様子を網膜することを可能にしました。

また網膜に画像をさらに投影しやすくした、網膜投影機器付カメラ「RETISSA Super Capture(スーパーキャプチャ)」と電子ルーペ「RETISSA ルーペ」の試作品を参考展示します。RETISSA Super Capture は当社の「With My Eyes*」プロジェクトでロービジョンの若者が写真撮影の小旅行をしたときに使われたデジタルカメラのビューファインダーを網膜投影型にしたものです。RETISSA ルーペはご要望にお応えして開発している手持ちの網膜投影機器です。

いずれの製品・試作品も、会場にて先行予約のお申し込みをお受けします。

プレゼンテーションスペースでは「見えるをあきらめない！～レーザ網膜投影による新しい3つのロービジョンエイド～」と題して、網膜投影技術によって弱視の子供、ロービジョン者、高齢者を支援する当社の取り組みをご紹介します。

《H.C.R 国際福祉機器展》



<https://hcr.or.jp/>

会期:2021年11月10日(水)~11月12日(金) 10時00分 ~ 17時00分まで
(ただし最終日11月12日(金)は、16時00分まで)

Web展:2021年10月11日(月)~12月10日(金)17時00分まで

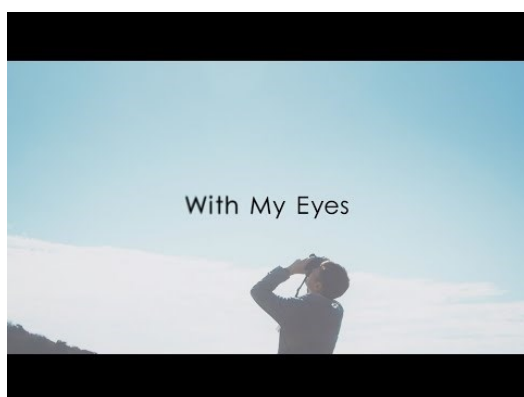
場所:東京ビッグサイト 青海展示棟(東京都江東区青海 1-2-33) ※入場無料(入場登録制)

主催:全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会

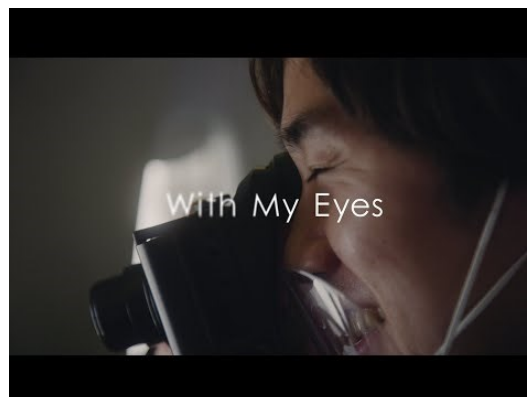
《NEDO ブース》

ブース番号 A-401

With My Eyes



<https://youtu.be/p5bIfs94Oys>



https://youtu.be/ZM52dax_5yc

以上